サーバーのリプレイスに伴う

ESET Remote Administrator V6 の移行手順

(サーバーの IP アドレスやコンピュータ名を変更する場合)

第2版

2019年9月

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

目次

1.	はじめに		3
2.	本資料におい	ナる構成の前提	4
3.	新サーバー⁄	への ERA 移行フロー	6
4.	作業をはじる	める前に	7
5.	[STEP1]	旧サーバーでデータベースのバックアップ取得	8
6.	[STEP2]	新サーバーで EFSW のインストール	. 13
7.	[STEP3]	リストアと ERA インストール	.21
8.	[STEP4]	ERA サーバーのセットアップ	.34
9.	[STEP5]	クライアントの接続先の変更	.46

1. はじめに

- 本資料は、ESET Endpoint Protection シリーズ V6 をご利用のお客さまがサーバーの リプレイス時に ESET Remote Administrator V6.5の移行を行う場合、必要となる作 業や注意事項について記載しています。
- ○本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本資料の画面イメージは、Windows Server 2016 をベースに作成しております。その ため、OS によっては記載内容と名称が異なっている場合がございます。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁じます。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国におけ る商標または、登録商標です。ESET、ESET Endpoint Security はスロバキア共和国 ESET,LLC ならびに ESET,spol. s. r. o.に帰属します。本資料の著作権は、キヤノンマ ーケティングジャパン株式会社に帰属します。その他の製品名及び社名などは、各社の 商標または登録商標です。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

2. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、サーバーのリプレイス時に ESET Remote Administrator V6 を移行する為のフローや注意点を記載しております。

移行前

	旧サーバー	新サーバー
全体構成	 ・一台のサーバーで管理とミラー機 能を運用 ・専用サーバーで運用 ・モバイル管理なし ・オンライン環境 	・オンライン環境
OS	Windows Server 2012 R2	・Windows Server 2016 又は Windows Server 2012 R2
ESET 製品	 ・ESET Remote Administrator V6.5.549.0 (管理用) ※ 1 ・ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5.12014.1 (ウイルス・スパイウェア対策兼ミラ ー機能用) ※ 2 	
利用データ ベース	Microsoft SQL Server 2014 Express % 3	



移行後

	旧サーバー	新サーバー
全体構成		 ・一台のサーバーで管理とミラー機能を 運用 ・専用サーバーで運用 ・モバイル管理なし ・オンライン環境
OS		・Windows Server 2016 又は Windows Server 2012 R2
ESET 製品		 ・ESET Remote Administrator V6.5.549.0 (管理用) ※ 4 ・ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5.12014.1 (ウイルス・スパイウェア対策兼ミラー 機能用)
利用データ ベース		Microsoft SQL Server 2014 Express

- ※1 以降、略称で「ERA」と表記する。
- ※2 以降、略称で「EFSW」と表記する。
- ※3 以降、略称で「MSSQL」と表記する。
- ※4 移行前と移行後の ESET Remote Administrator は完全に同一のバージョンである 必要があります。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

く参考>

現在、ERA V6.2 または ERA V6.3 を使われている方は、ERA を V6.5 にバージョン アップデートしてから、サーバー移行作業を行うようにお願いいたします。

ERA V6.5 へのバージョンアップ方法は以下のサイトを参照してください。 URL: https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4737?site_domain=business



モバイル端末の管理データは移行することができません。 そのため、新サーバーでモバイル端末を管理する際は、インストール時にモバイル デバイスコネクターもインストールを行い、リストア作業終了後に、再度、モバイ ル端末を登録してください。

モバイル端末を登録する方法は、ユーザーズサイトに公開しております「ESET Remote Administrator ユーザーズマニュアル」の「5.3.6 モバイルデバイスの 手動追加」をご参照ください。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

3. 新サーバーへの ERA 移行フロー

サーバーリプレイスに伴う、ERA と EFSW の移行に必要なステップは以下の通りです。



サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

4. 作業をはじめる前に

事前準備

<mark>移行作業を始める前に</mark>、旧サーバーと新サーバーに以下のプログラムをダウンロードまた はインストールを行ってください。

【旧サーバー】

インストールするプログラム ・ SQL Server Management Studio17.7 以下の URL からインストールを行ってください。 URL: https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms ※インストールには時間がかかります。

【新サーバー】

- インストールするプログラム
 - SQL Server Management Studio17.7 以下の URL からインストールを行ってください。 URL: https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms ※インストールには時間がかかります。
- インストーラーの取得のみを行うプログラム(※インストールは行わないでください) 以下の URL よりユーザーズサイトにログインし、インストーラーのダウンロードを 行ってください。 URL: https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html ※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザー名が必要です。
 - ・ERA のオールインワンインストーラー
 ※ユーザーズサイトで「プログラム/マニュアル」→「プログラムの一覧からダウン ロード」→「クライアント管理用プログラムについてはこちら」→「Windows Server でご利用の場合」と進むとインストーラーがございます。
 - ・EFWS のインストーラー ※ユーザーズサイトで「プログラム/マニュアル」→「プログラムの一覧からダウン ロード」→「Windows Server でご利用の場合」と進むとインストーラーがござい ます。

※ライセンス情報について

STEP3-1 で EFSW のインストールの際に、製品認証キーを入力する必要があります。 ユーザーズサイトの「ライセンス情報/申込書作成」のアクティベーション情報にある 「製品認証キー」を控えておきますようにお願いいたします。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

5. [STEP1] 旧サーバーでデータベースのバックアップ取得

STEP1-1. ERA のサービス停止

旧サーバーのデータベースのバックアップを取得するために、以下の手順を参照して ERA のサービスを停止させます。

	/注音へ	
	くに尽く	
旧	サーバーでバッ	ックアップを取得してから、各クライアントが新サーバーに接続し始め
る	までの間、各久	フライアントが収集したログは旧サーバーの方に送られます。
そ	のため、その間	間のログは新サーバーに移行できませんので、ご注意ください。

 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き 「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。

💷 ファイ	ル名を指定して実行	×
	実行するプログラム名、または聞くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。	
名前(<u>O</u>)	services.msc	~
	OK キャンセル 参照(B)	

2. 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの停止を クリックします。

ESET Remote Administrator	名前	説明	状態
Server	🔍 DNS Client	DN	実行中
	🔍 Encrypting File System (EFS)	暗号	
サービスの得止	🔍 ESET HTTP Server	ESE	実行中
リーヒスの円起動	C ESET Remote Administrator Agent	ESE	実行中
	ESET Remote Administrator Server	ESE	実行中
説明:	ESET Service	ESE	実行中
ESET Remote Administrator Server service.	Extensible Authentication Protocol	拡張	

3. 「ESET Remote Administrator Server」の項目の状態が空欄になったことを確認します。

名前	説明	状態	ス タ-
🔐 DNS Client	DN	実行中	自動
🌼 Encrypting File System (EFS)	暗号		手動
🔍 ESET HTTP Server	ESE	実行中	手動
🔍 ESET Remote Administrator Agent	ESE	宇治市	自動
🕵 ESET Remote Administrator Server	ESE		自動
🔍 ESET Service	ESE	夫仃甲	自動
🔅 Extensible Authentication Protocol	拡張		手動

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

STEP1-2. データベースのバックアップ

旧サーバーで取得したデータを新サーバーに移行するために、以下の手順を参照して旧サ ーバーのデータベースのバックアップファイルを作成してください。

 「スタートボタン」→「Microsoft SQL Server Management Studio17」をク リックし、SQL Server Management Studio17 を起動します。
 ※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。



 サーバーへの接続画面で、項目が以下のようになっていることを確認して「接続」 をクリックします。
 サーバーの種類:データベースエンジン

サーバーの程録:ゲータバースエンシン サーバー名:ERA サーバーで使用しているインスタンス名※ 認証:Windows 認証 ※既定では「コンピュータ名¥ERASQL」となっております。

	サーバーへの接続	X
	SQL Server	
サーバーの種類(<u>T</u>): サーバー名(<u>S</u>):	データベース エンジン ¥ERASQL	~ ~
	Windows 認証	
ユーサー名(U): パスワード(<u>P</u>):	*Admini ↓ パスワードを(呆存する(<u>M</u>)	strator
	接続(C) キャンセル ヘ,	ルプ オブション(0) >>

3. オブジェクトエクスプローラーから「インスタンス名」-「データベース」-「era_db」 に移動します。



4. 「era_db」を右クリックし、「タスク」-「バックアップ」をクリックします。

6	¥ERASQL (SQL		
□ ■ データベース			
⊕ v/r/r ⊕ era_db	-9/\->	_	
	新しいデータベース(N)		
🗉 🛑 サーバー オン	新しいクエリ(Q)		
■ ■ レブリケーショ	データベースをスクリプト化(S) ▶		
● 管理 ● YEvent プ	タスク(T)		デタッチ(D)
	ポリシー(0)		オフラインにする(T)
	ファセット(A)		オンラインにする(I)
	PowerShell の起動(H)		Classify Data
	レポート(P) ▶		MC881±≓†IЩ(∨)
		-	圧縮(S)
	削除(D)		バックアップ(B)
		-	復元(R)

表示された画面で項目を以下のように設定し、「OK」をクリックします。
 ①データベース:era_db
 ②バックアップの種類:完全
 ③バックアップ先:ディスク
 ※既定では以下のフォルダーに、バックアップファイル(era_db.bak)が作成されます。

C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥「インスタンス名」¥MSSQL¥Backup

ソース					
データベース(<u>T</u>):	1 era_db				~
復旧モデル(<u>M</u>):	単純				
バックアップの種類(<u>K</u>):	2 完全				~
🔲 コピーのみのバックアップ(ゾ					
バックアップ コンポーネント:					
・データベース(<u>B</u>)					
○ ファイルおよびファイル グルー (Ġ):	-7				
バックアップ先	<u> </u>				
バックアップ先(<u>U</u>):	③ ディスク				~
C:¥Program Files¥Microsoft SQL	Server¥MSSQL12.EF	ASQLINSTANCEID¥MSS	QL¥Backup¥era_db.bak		追加(<u>D</u>)
				[削除(<u>R</u>)
				[内容(<u>C</u>)
				ОК	キャンセル

6. 以下のメッセージが表示されたらバックアップは正常に終了しています。 「データベース'era_db'のバックアップが正常に完了しました。」

Microsoft SQL Server Management Studio	x
データベース 'era_db' のバックアップが正常に完了しました。	
	ОК

- ※「アクセスが拒否されました」といったエラーが出力された場合は、 バックアップファイルの出力先にアクセスする権限があるかご確認ください
- 7. 作成したバックアップファイルを新サーバー上に移行します。

STEP1-3. ERA のサービス起動

新サーバーで管理を開始するまで、旧サーバーでの管理を行うため ERA のサービスを起動 します。以下の手順で ERA のサービスの起動を行ってください。

1. 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き 「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。

💷 ファイ	ル名を指定して実行	×
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インタ・ ネットリソース名を入力してください。	-
名前(<u>O</u>)	: services.msc	~
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

2. 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの開始を クリックします。

♀ サービス (ローカル)	-		
ESET Remote Administrator	名前	説明	状態
Server	Encrypting File System (EFS)	暗号	
	SESET HTTP Server	ESE	実行中
サービスの開始	ESET Remote Administrator Agent	ESE	実行中
	SET Remote Administrator Server	ESE	
説明:	ESET Service	ESE	実行中
ESET Remote Administrator	Extensible Authentication Protocol	拡張	

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

3. 「ESET Remote Administrator Server」の項目の状態が実行中になったことを 確認します。

	夕 茹 ^	50 RB	44-69	70-67
or Server	有別	a元 5月	17,128	X9-P)
	Stephen (EFS)	暗号		手動 (ト
	Enterprise App Management Service	エンタ		手動
	SET HTTP Server	ESET	実行中	手動
	🖏 ESET Remote Administrator Agent	ESET	実行中	自動
	🎇 ESET Remote Administrator Server	ESET	実行中	自動 (遅
r Server	🖏 ESET Service	ESET	実行中	自動
6	C Extensible Authentication Protocol	1/7 2E		千卦

以上で、旧サーバーのデータベースのバックアップ手順は終了です。

続いては、<mark>新サーバーに</mark> EFSW のインストールを行います。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

6. [STEP2] 新サーバーで EFSW のインストール

STEP2-1. EFSW のインストール

新サーバーに EFSW をインストールし、ミラー機能を有効にします。 ※旧サーバーの EFSW で設定している以下でご案内するミラー機能以外の項目について、 新サーバーで再度設定してください。

なお、旧サーバーで設定した設定ファイルを読み込ませながら新サーバーでインストール を行う、設定読み込み型インストールもございます。 詳細は以下の Web ページをご参照く ださい。

URL: https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/20?site_domain=business



1. EFSW のインストーラー「efsw_nt64_JPN.msi」をダブルクリックします。



2. ESET File Security セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。



3. エンドユーザー契約条項を受諾し、「次へ」をクリックします。

エンドユーザー契約条項 以下のライセンス契約条項を注意してお読みください
重要:ダウンロード、インストール、コビー、または使用の前に、製品利用に関▲ する下記契約条件を注意してお読みください。本製品をダウンロード、イン ストール、コビー、または使用することにより、お客様はこれらの条件に 対する同意を表明したことになります。
ソフトウェア使用に関するエンドユーザライセンス契約条項。
本ソフトウェア使用に関するエンドユーザライセンス契約(以下「本契約」と します)は、スロバキア共和国,Einsteinova 24, 851 01 Bratislavaに所在 し、ブラチスラバ第1地方裁判所の有限会社部門(District Court Bratislava >
● ライセンス契約条項を受諾します(A)
○ライセンス契約条項を受諾できません②
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

4. 「完全」を選択し、「次へ」をクリックします。

聞 ESET File Security セッ	ットアップ ン	×
セットアップの種類 ニーズに合ったセットア	ップの種類を選択してください	
◎完全	すべてのプログラム機能がインストールされます。	
סב⊖	コア機能とコマンドラインユーザーインターフェイスがインストール されます。サーバーコアインストールでは推奨されます。	
⊖	インストールするプログラム機能を選択してください。上級者ユ ーザー向けです。	
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル(C)	

5. インストールするフォルダーを選択し、「インストール」をクリックします。 ※既定では下の画像の赤枠のフォルダーにそれぞれインストールされます。

记 ESET File Security セットアップ	×
インストールするフォルダを選択してください	eser
このフォルダにインストールするには[インストール]をクリックしてください。別のフォル るには、フォルダを入力するか参照をクリックしてください。	レダにインストールす
製品フォルダ(P): C:¥Program Files¥ESET¥ESET File Security¥	参照(R)
モジュールフォルダ(M): C:¥Program Files¥ESET¥ESET File Security¥	参照(R)
データフォルダ(D): C:¥ProgramData¥ESET¥ESET File Security¥	参照(R)
< 戻る(1) インストール	キャンセル(の)

6. インストールが開始されます。

记 ESET File Security セットアップ	×
インストール中ESET File Security	eser
セットアップウィザードがESET File Securityをインストールするまでしばらくお待ちください。 分かかる場合もあります。	処理(こ数
ステータス: システム レジストリの値を削除しています	
< 戻る個 次へ(11) > キ	ャンセル(<u>C</u>)

7. 「ESET File Security セットアップウィザードを完了しています」と表示されましたら、「完了」をクリックし、インストールを完了させます。



 しばらくすると製品のアクティベーション画面が表示されますので、製品認証キー を入力して、「アクティベーション」をクリックします。
 ※製品認証キーについては、P7の事前準備をご確認ください。



9. 「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、「完了」をクリック します。

\checkmark	アクティベーションが成功しました
	アクティベーションしていただきありがとうごさ ESET File Securityは定期的にアップデートを
	ESET License Administrator上のこのライセン
	完了

10.続いては、ミラー機能を有効にします。 ESET のメイン画面より、「設定」→「詳細設定」をクリックします。

	es	FILE SECURITY					_ 🗆 ×
3	▲	監視	設定				?
	Ę	ログファイル	サーバー	_	コンピュータ	Y-	-JL
•	Q,	検査		自動除外 有効			0
·	C	アップデート		クラスタ 無効			0
	٥	設定		クラスタが構成されていた 用して機能を構成および	ないため、設定を有効にできません ∮有効にしてください。	🖁 😯 ৫୨৯୬৩-৫৮	ドを使 🎽
	×	ツール					
	?	ヘルプとサポート					
						_	
		OY SAFER TECHNOLOGY™			設定のインボート/エ	クスポートの	詳細設定(A)

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

11. 「アップデート」→「プロファイル」→「ミラーサーバーの作成」をクリックしま す。



12. 「アップデートミラーの作成」を有効にし、「OK」をクリックします。

■ ミラーサーバーの作成	
アップデートミラーの作成	 Image: A set of the set of the
アッファートファイルへのアクセス	
内蔵のHTTPサーバー経由でアップデートファイルを提供する	×
ミラーファイルの保存先 C:\ProgramData\ESET\ESET File Security\mirror	削除
ユーザー名	
パスワード	
ファイル	
ファイル	編集
ローパー	
🗖 고┉구ᆕ ト井 パ 埣烓고ゎゎヽ.ト.ゕミル.ウ	
	Сок

13.メイン画面のアップデートより、「今すぐアップデート」をクリックします。



14. ウイルス定義データベースのアップデートが開始されます。 ※ミラーサーバー作成のため、アップデートに時間を要します。

アップラ	<i>τ</i> −ト
0	ウイルス定義データベースのアップデート アップデート進行中: 1,270 kB / 161,544 kB ファイル名: em002_32_12.nup
	アップデートのキャンセル

15.「前回成功したアップデート」がアップデートを終えた日時と同じになっていることを確認します。

アップ	デート	
C	ウイルス定義データベースは最新です アップデートは不要です - ウイルス定義データベースは最新です。 前回成功したアップデート: ウイルス定義データベースのバージョン:	2018/01/26 15:16:13 16799 (20180126)
	今すぐアップデート	

16. ウイルス定義データベースファイルが以下のフォルダーに保存されていることを ご確認してください。 C:¥ProgramData¥ESET¥ESET File Security¥mirror

📙 🛃 📕 🖛 mirror				- 0	×
ファイル ホーム 共有	表示				~ ?
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \square \ll Pro	ogramData > ESET > ESET File Security > mirro	r v č	5 mirrorの検索		P
	名前 ^ ~	更新日時	種類	サイズ	^
 ■ デスクトップ * ◆ ダウンロード * ※ ドキュメント * ※ ピクチャ * ■ PC 	 nod00A0.nup nod0A0C.nup nod0A0E.nup nod0A3B.nup nod0A13.nup nod0A48.nup nod0AAE.nup nod0AAE.nup nod0AD1.nup nod0AD1.nup nod0B15.nup nod0B23.nup nod0B23.nup nod0B25.nup nod0B25.nup nod0B25.nup nod0B25.nup nod0B25.nup nod0B25.nup nod0B25.nup nod0D9C.nup nod0D18.nup 	2018/06/12 10:53 2018/06/12 11:04 2018/06/12 11:04 2018/06/12 11:07 2018/06/12 11:07 2018/06/12 11:04 2018/06/12 11:04 2018/06/12 11:03 2018/06/12 11:03 2018/06/12 11:04 2018/06/12 11:04 2018/06/12 11:10 2018/06/12 11:11	NUP 77/1/ NUP 77/1/	467 KB 22 KB 22 KB 24 KB 233 KB 32 KB 37 KB 8 KB 6,666 KB 152 KB 18 KB 8 KB 387 KB 206 KB	
	 nod0D41.nup nod0D63.nup nod0D74.nup nod0E23.nup nod0E23.nup nod0E83.nup 	2018/06/12 10:58 2018/06/12 10:51 2018/06/12 10:59 2018/06/12 11:10 2018/06/12 11:10	NUP ファイJル NUP ファイJル NUP ファイJル NUP ファイJル NUP ファイJル	156 KB 94 KB 142 KB 52 KB 53 KB	
602 個の項目	∐ nod0£89.nup ⊸	2018/06/12 11:08	NUP J7116 	38 KB	

以上で、EFSW のインストール方法は終了です。

続いては、リストア作業と ERA のインストールを行います。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

7. [STEP3] リストアと ERA インストール

STEP3-1. MSSQLのインストール

ERA のオールインワンインストーラーを使用して、MSSQL のみをインストールします。 ※この STEP3-1 の作業では ERA のオールインワンインストーラーのセットアップを一時 中断して STEP3-2 に移ります。そのため、セットアップをそのまま進めてしまわないよう にご注意ください。

1. 事前準備でダウンロードした ERA のオールインワンインストーラー 「Setup_x64.zip」を右クリックし、「すべて展開」をクリックします。



 ファイルを展開させるフォルダーを選択し、以下の項目にチェックしてあることを 確認して、「展開」をクリックします 辺完了時に展開されたファイルを表示する

展開先の選択とファイルの展開	
ファイルを下のフォルダーに展開する(<u>F</u>):	
C:¥Users¥Administrator¥Desktop¥Setup_x64	参照(
✓完了時に展開されたファイルを表示する(出)	
展	開(<u>E</u>)

3. フォルダーが開かれたら、「Setup.exe」をダブルクリックし、オールインワンイン ストーラーを起動します。

PC 3	> デスクトップ > Setup_x64 >	
	名前 ^	更新
	installers	2018
7	Sciter64.dll	2017
Я	🛎 Setup.exe	2017
*		

4. 言語は日本語を選択し、「次へ」をクリックします。

	手順ビデオ ESET Remote Administratorビデオガイドを含むESET You 示します。
言語	日本語
事前に 言語通	こ用意されたコンテンツやリポジトリに使用される言語を選択しま 選択には影響しません。
	戻る 次へ

5. 以下の項目にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。 ●Remote Administrator サーバーのインストール

実行する処理を選択:		
 Remote Administratorサーバーのインストール ESET製品をリモートで管理できます。 		
Remote Administratorプロキシのインストール 大規模なネットワークまたは遠隔地からの通信の負荷を分散します		
○ モバイルデバイスコネクターのインストール(スタンドアロン) モバイルデバイスをESET Remote Administratorに接続します。		
Apache HTTP Proxyのインストール/アップグレード アップデートと他のデータをキャッシュに保存し、ネットワーク負荷を軽		
戻る 次へ		

6. エンドユーザーライセンス契約に同意して「次へ」をクリックします。



サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

7. 【Apache HTTP プロキシ(ミラーサーバーの代用)】のチェックを外し、「インストール」をクリックします。

※Rogue Detection Sensor は任意でインストールしてください。

✓ Remote Administratorサーバー		
✓ Remote Administratorエージェント		
モバイルデバイスコネクター		
Microsoft SQL Server Express		
✓ Webコンソール		
Apache Tomcat		
Rogue Detection Sensor		
□ Apache HTTPプロキシ(ミラーサーバーの代用)		
戻る インストール		

※以下のようなエラーが出ましたら、【Java Runtime Environment Version 7 Update 65】以降と【Microsoft .NET Framework 3.5】をインストールし、そ の後、「再試行」をクリックしてください。



8. ESET Remote Administrator セットアップウィザードが表示されましたら 【次へ】をクリックせずに、最小化してください。



STEP3-2. データベースのリストア

STEP1 で作成した旧サーバーのデータベースのバックアップファイルを使って、新サーバーにリストアを行います。以下の手順で、データベースのリストアを行ってください。

 STEP1-2 で作成したバックアップファイル(era_db.bak)を以下のフォルダーに移動してください。
 C:¥ Program Files¥Microsoft SQL Server¥ MSSQL12.ERASQLINSTANCEID¥ MSSQL¥Backup



 「スタートボタン」→「Microsoft SQL Server Tools 17」→「Microsoft SQL Server Management Studio 17」をクリックし、SQL Server Management Studio17を 起動します。

	Microsoft SQL Server Tools 17 ^	リモート プ接続
	Microsoft SQL Server Manageme	
	SQL Server Profiler 17	
8	w	
ŝ	Windows PowerShell V	
ds	Windows アクセサリ 〜	
0	Windows システム ツール 🗸 🗸	
	ዶ 🗆 🤶 🗔 🗳	

※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。

 サーバーへの接続画面で、項目が以下のようになっていることを確認して「接続」 をクリックします。 サーバーの種類:データベースエンジン

サーバー名:コンピュータ名¥ERASOL	_
認証:Windows 認証	

♀゚゚サーバーへの接続		×
	SQL Server	
サーバーの種類(工):	データベース エンジン	~
サーバー名(<u>S</u>):	¥ERASQL	~
1211 (<u>A</u>):	Windows 認証	~
ユーザー名(山):	¥Adminis	trator 🗸
パスワード(<u>P</u>):	─ パスワードを保存する(<u>M</u>)	
	接続(C) キャンセル ヘル	Jプ オプション(<u>0</u>) >>

 オブジェクトエクスプローラーから「インスタンス名」-「データベース」-「システムデータベース」に移動します。



5. 「システムデータベース」を右クリックして「データベースの復元」を クリックします。

-	6	¥ERAS	¥ERASQL (SQL Servi			
	-	 データベース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				_
	+	セキュリティ		データベー	-スの復元(R)	
	+ +	■ サーバー オブジェクト ■ レプリケーション		ファイルお	らよびファイル グル	-7

6. 「全般」画面で「ソース」内の「デバイス」にチェックを入れ、「...」をクリックします。

 全般 ファイル オブション 	ソース	~
	 デバイス(<u>E</u>): データベース(<u>A</u>): 	

「バックアップデバイスの選択」画面で、以下の設定になっていることを確認し「追加」をクリックします。
 バックアップメディアの種類:ファイル

🖛 バックアップ デバイスの選択			_		×
復元操作を行うバックアップ メディン	アとその場所を指定します。				
バックアップ メディアの種類(<u>B</u>): バックアップ メディア(<u>M</u>):	7711	~			
				追加(<u>A</u>)	
				削除(<u>R</u>)	
				内容(1)	
	OK(<u>O</u>)	キャン	セル	ヘルプ	

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

8. 手順1で移動させたバックアップファイル(era_db.bak)を選択し、「OK」をクリックします。



9. era_db.bak が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。



サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

```
    10.以下の設定になっていることを確認します。
    ①転送先
    データベース: era_db
    ②復元プラン
    復元:□
```

א-ע	
ブータベース(<u>D</u>):	
● デバイス(E):	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server
データベース(<u>A</u>):	era_db
転送先	
データベース(<u>B</u>): <u>1</u>	era_db
復元先(<u>R</u>):	最後に作成されたバックアップ(2018年6月1
復元プラン ――――	
復元するバックアップ セット(<u>C</u>)	:
復元名前	コンポーネント 型
2 🔽 era_db-完全 データ	ベース バックアップ データベース 完全

 11.「オプション」を選択し、以下の設定にチェックを入れ、「OK」をクリックすると リストアが開始されます。
 ① □既存のデータベースを上書きする
 ② □各バックアップを復元する前に確認する

▶_ファ1ル	6tr = _1_0		
🖻 オブション	12元オフション		
	□ レプリケーションの設定を保存す	る (WITH KEEP_REPLICATION)(P)	
	□ 復元するデータベースへのアクセスを制限する (WITH RESTRICTED_USER)(B)		
	復旧状態(<u>E</u>):	RESTORE WITH RECOVERY	
	スタンバイ ファイル(<u>S</u>):	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL12.ERAS	
	コミットされていないトランザクション? ません。	Eロールバックして、データベースを使用可能な状態にする。別のトラ	
	ログ末尾のバックアップ ―――		
	🔄 復元の前にログ末尾のバックア:	げを実行する(I)	
	□ ソース データベースを復え (WITH NORECOVERY)	モ中の状態にしておく (L)	
	バックアップ ファイル(<u>B</u>):	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL12.ERAS	
	サーバー接続 ――――		
	── 接続先データベースへの既存の	接続を閉じる(<u>C</u>)	
続	70276		
Ψ	② ☑ 各バックアップを復元する前に確	記する(<u>M</u>)	
		リーハーフロパティは、復元されるデータベースのフルテキスト イン	
	桶架するが、リセットするかを	利仰します。	
凄待のプロパティの表示			
¥424F30			
±171入况 二一			
✓ 元1			
<u> </u>			
		ок	

12.以下メッセージが表示されましたらリストアは正常に終了しておりますので、「OK」 をクリックします。 「データベース'era_db'の復元に成功しました。」

Microsoft SQL Server Management Studio	×
データベース 'era_db' の復元に成功しました。	
OK	

13.「インスタンス名」-「データベース」の配下に「era_db」が作成されていること を確認して、Microsoft SQL Server Management Studio を「×」で閉じます。



STEP3-3. ERA のインストール

ERA のコンポーネントをインストールします。

1. STEP3-1 の手順8 で最小化していた、ウィンドウを開きます。



2. ESET Remote Administrator セットアップウィザードの画面が表示されました ら、「次へ」をクリックします。



サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

3. 以下の画面が表示されましたら、「次へ」をクリックします。

撮 ESET Remote Administrator Server セットアップ	_		×
データベースサーバー接続		0	eset
をクリックすると、データベース接続を検証します			
)	キャン	セル

4. 「Web コンソールユーザーとサーバー接続」画面にて以下を選択して 「次へ」をクリックします。

☑既にデータベースに保存されている管理者パスワードを使用す

Webコンソールユーザーとサーバー接続 Webコンソールのユーザー名とパスワード、サーバーの接続ポートを入力してくだ い。			
☑既にデータベースに保存されている管理者パスワードを使用する			
パスワード:			
パスワード確認:			
エージェントポート:	2222		
コンソールポート:	2223		
	戻る個次へへの		

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

5. 「証明書情報」画面にて権限共通名の項目を入力し、「次へ」をクリックします。 ※既定で入力されている「サーバー認証局」以外の共通名に設定してください。

记 ESET Remote Administrator Server 선ット	-アップ – 🗆 🗙
証明書情報 以下に共通証明書情報を入力してください	n. eset
組織単位: 組織: ローカル: 州/国:	
証明書の有効期間: * 権限共通名: * 権限パスワード:	10 サーバー認証局(サーバーリプレイス用)
* 必須フィールド	戻る(B) 次へ(N) キャンセル

「ESET Remote Administrator のアクティベーション」画面にて以下の項目にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
 ●後からアクティベーション

ESET Remote Administratorのアクティベーション 以下のアクティベーションオブションを選択してください。			
 ● 後からアクティペーション ● 殺ooi25世ャービアクティイ 	マーション		
製品認証キー:			
		戻る(B)	次へ₪

7. 「インストール」をクリックして、ERA サーバーのインストールを開始します。

インストールを開始するには [インストール] をクリックしてください。インストール設定 は変更するには [戻る] をクリックしてください。ウィザードを終了するには [キャンセ してください。	官を確認また ル] をクリック
戻る(B) インストール(I)	キャンセノ

8. 「ESET Remote Administrator Server セットアップウィザードが完了しました」 と表示されましたら、「完了」をクリックします。

# ESET Remote Administrator Server セットアップ — □ ×			
CESET REMOTE	ESET Remote Administrator Server セット アップ ウィザードが完了しました		
ADMINISTRATOR	セットアップ ウィザードを終了するには、 [完了] ボタンをクリックし ます。		
	戻る(B) 完了(F) キャンセル		

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

9. 全てのコンポーネントがインストールされると以下のような画面が表示されます。 「終了」をクリックして、インストールを終了してください。



以上で、新サーバーへのリストア作業と ERA のインストールは終了です。 続いては、ERA サーバーのセットアップを行います。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

8. [STEP4] ERA サーバーのセットアップ

STEP4-1. ERA サーバーの証明書変更

ERA サーバーに設定されているサーバー証明書が STEP3-3 で ERA をインストールした 際に作成された証明書となっているため、旧サーバーで使用していた証明書に変更します。

 「スタートボタン」→「ESET」→「ESET Remote Administrator Web Console」 をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。

	ESET ^ 新規
	ESET File FSET Remote Administrator Web Console
	esset Remote Administrator Web 新規
	「「」 CSCI SHEII 新規
	SET SysInspector 新規
8	L
m	Java ~ 新規
ŝ	м
Φ	Microsoft SQL Server 2008
	A 🗇 🧲 📜

2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用している ため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。 ※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、旧サーバーで使用していたユーザー名とパスワードを入力し、ログインをクリックします。



4. Web コンソール画面の右上のクイックリンクから、「サーバーの設定」をクリックします。

		コンピューター名の検ジ 🥜
-16-	新しいコンピューターの追加 新しいモバイルデバイスの追加 新ユーザーを追加 レポートの作成	ー ボリシー 新しいポリシーの作成… ポリシーの割り当て…
		<u>サーバーの設定</u> アクセス推
	新しいインストーフーの作成	サーバータスク 動のグリープニンプリート

5. 「証明書の変更」をクリックします。

サーバ・	サーバーの設定				
	接続				
	Remote Administratorポート(再起動が必要)	2222			
	WebConsoleポート(再起動が必要)	2223			
	高度なセキュリティ	×			
	証明書(再起動が必要)	証明書の変更			
	件名 (CN=Server at *; [SN:01d86c3afd63c649e780c811cd4bc4d8ea01]), 有効開始日 (2018/7/26 0:00:00), 有効期限 (2028/7/23 0:00:00), 件名代替	発行者 (CN=サーバー認証局(サーバーリプレイス用);), 名 (*)			

6. ピア証明書の「Remote Administrator 証明書」にチェックが入っていることを 確認して「証明書リストを開く」をクリックします。

証明書	? 🗆 X
ピア証明書	 Remote Administrator証明書 カスタム証明書
Remote Administrator証明書 カスタム証明書 証明書パスワード	証明書リストを開く テ 3 k8 ま ★ パスワードの表示
	<u>ок</u> キャンセル

7. 発行者が STEP3-3 の手順5で入力した名前とは異なる証明書を選択し「OK」を クリックします。

説明	発行者	製品	件名	▲ ホスト	使用しているク
サーバー証明書	CN=サーバー認証局;	Server	CN=Server at *;	*	
サーバー証明書	CN=サーバー認証局(サーバーリプレイス用);	Server	CN=Server at *;	*	1
1アイテムを選択し	ています。				
					ок 🖃

8. 旧サーバーの証明書でパスワードを設定している場合は、パスワードを入力して から、「OK」をクリックします。

証明書	? 🗆 X
ピア証明書	 Remote Administrator証明書 カスタム証明書
Remote Administrator証明書	証明書リストを開く
カスタム証明書	🗁 3 kB 🕹 🗙
証明書パスワード	
	パスワードの表示
	OK キャンセル

9. 手順7で選択した証明書であることを確認して「保存」をクリックします。

		高度なセキュリティ(再起動が必要)	×
		証明書(再起動が必要)	証明書の変更
		件名 (CN=Server at *; [SN:0185c2e71d9a054cc596cdf85eac3868 日 (2018年2月8日 0:00:00), 有効期限 (2028年2月6日 0:00:00), 件	30601]), 発行者 (CN=サーバー認証局;), 有効開始 名代替名 (*)
	+	更新	
	÷	詳細設定	
	+	カスタマイズ	
保	存	キャンセル	

10.チェックが付いていることを確認して、ブラウザを閉じます。

Shttps://localhost/era/webconso タマ ② 証明者のエラー Controls Administration/1、 C	ー ロ 区 SET Remote Administrator × の な 怨 @
Webコンソールポート(再起動が必要)	2223
高度なセキュリティ(再起動が必要)	×
証明書(再起動が必要)	証明書の変更
件名 (CN=Server at *; [SN:0185c2e71d9a054cc596cdf85eac386806 効期限 (2028年2月6日 0:00:00), 件名代替名 (*)	01]), 発行者 (CN=サーバー認証局;), 有効開始日 (2018年2月8日 0:00:00), 有
+ 更新	
+ 詳細設定	
+ カスタマイズ	
保存 キャンセル 🗸	

11. 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き 「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。

💷 ファイル名を	指定して実行	×
回 実行 ネッ	テするプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インタ トリソース名を入力してください。	1-
名前(<u>O</u>): sei	vices.msc	~
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

12. 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの再起動 をクリックします

ESET Remote Administrator Server	名前	説明
	🆏 Encrypting File System (EFS)	暗号
サービスの停止	🎑 Enterprise App Management Service	エンタ
	🖏 ESET HTTP Server	ESET
	C ESET Remote Administrator Agent	ESET
	ESET Remote Administrator Server	ESET
ESET Remote Administrator Server	ESET Service	ESET

13. 「ESET Remote Administrator Server」サービスの状態の状態が実行中になっていることを確認します。

名前	説明	状態
🔍 Encrypting File System (EFS)	暗号	
🏟 Enterprise App Management Service	エンタ	
🖏 ESET HTTP Server	ESET	実行中
🏟 ESET Remote Administrator Agent	ESET	実行中
🎑 ESET Remote Administrator Server	ESET	実行中
O. FSET Service	ESET	宝行由

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

STEP4-2. ERA エージェントの証明書変更

新サーバーにインストールされた ERA エージェントは、インストール時に設定した証明書 を使用して接続しているため、ポリシーの機能を使用して旧サーバーで使用していた証明 書への変更を行います。

 「スタートボタン」→「ESET」→「ESET Remote Administrator Web Console」 をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。

	ESET 新規	^	
	ESET File ESET Remote Add	ministrator	Web Console
	ESET Remote Administrato	r Web	
	Line file 新規		
	COP ESET SysInspector 新規		
8	J		
ŝ	Java 新規	~	
w	М		
Ф	Microsoft SQL Server 2008	~ _	
	오 🗆 🤶 肩		

2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。

この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。
この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関: りません。
セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターから を盗み取る意図が示唆されている場合があります。
このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨しま ② ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。
😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。

※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用している ため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。 ※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。



4. Web コンソール画面の右上のクイックリンクから、「新しいポリシーの作成」を クリックします。



5. 基本のセクションでポリシーの名前と説明を任意に入力します。



40 / 53

6. 設定のセクションで製品として「ESET Remote Administrator Agent」を選択 します。

+ 基本	
- 設定 🛕	
製品を選択	
ESET Endpoint for Windows	
ESET Endpoint for macOS (OS X) and Linux	
ESET Shared Local Cache	
ESET Mobile Device Management for iOS	
ESET Roque Detection Sensor	
ESET Remote Administrator Agent	
ESEL Kemote Administrator Provi	

7. 「証明書の変更」をクリックします。

ESET Remote Administr	ator Agent 🗸 🗸	Q 入力すると検索
- 接続		
0 • *	接続先サーバー	サーバーリストの編集
0 • 4	データ制限	1
0 • 4	接続間隔 R R/1 ***?*	間隔の変更
0 • 4	証明書	証明書の変更

8. ピア証明書が「Remote Administrator 証明書」となっていることを確認して 「証明書リストを開く」をクリックします。

証明書	? 🗆 X
ピア証明書	 Remote Administrator証明書 カスタム証明書
Remote Administrator証明書	証明書リストを開く
カスタム証明書	a
証明書パスワード	パスワードの表示

9. 説明が「サーバー証明書」かつ、発行者が STEP4-3 の手順5で入力した名前と 異なる証明書を選択して、「OK」をクリックします。

説明	発行者	製品	件名
サーバー証明書	CN=サーバー認証局;	Agent	CN=Agent at *;
サーバー支援インストールのエージ…	CN=サーバー認証局;	Agent	CN=Agent at *;
サーバー証明書	CN=サーバー認証局(サーバー	リプレイス用); Agent	CN=Agent at *;
サーバー支援インストールのエージ	CN=サーバー認証局(サーバー	リプレイス用); Agent	CN=Agent at *;
1アイテムを選択しています。			
			ОК

10. 旧サーバーの ERA エージェントの証明書にパスワードを設定している場合は、 パスワードを入力してから、「OK」をクリックします。

証明書	? 🗆 X
ピア証明書	 ● Remote Administrator証明書 ○ カスタム証明書
Remote Administrator証明書 カスタム証明書	証明書リストを開く テ 3 kB
証明書パスワード	パスワードの表示

11. 手順9で選した証明書となっていることを確認します。

	0	4	証明書	証明書の変更
			件名 (CN=Agent at *; [SN:01ad35b6e98d67480c91228db27170fb5901]), 発行者 (CN=サー 限 (2028/2/6 0:00:00), 件名代替名 (*)	<u> パー認証局;)</u> , 有効開始
	+	更新		
	+	詳細設定		
+	割り当	τ		

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6 の移行手順

12. 割り当てのセクションで、「割り当て」をクリックします。

+ 設定
- 割り当て
割り当て 割り当て解除
- ターゲット名

13. 新 ERA サーバーにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

グループ・	▲ ● ✓ ○ □ サブグループの表示 フィルタの追加	
] 🛢 🖿 すべて (5)		
LOST+FOUND (5)	□ • コンピューター名	ステータス
🗉 🚺 Windows コンピューター		~
] Inuxコンピューター		
】 Mac コンピューター		×
] 1 古いモジュールのコンピュータ・		~
□ 古いオペレーティングシステム		~
□ □ 問題のあるコンピューター		
アクティベーションされていな	•	H4 4
÷		
ターゲット名	ターゲット説明	
削除すべて削除		ок

14. 新 ERA サーバーが選択されていることを確認して、「終了」 をクリックします。

	ターゲット名
_	
÷	サマリー
終	ア キャンセル

15. コンピュータのセクションに移動し、新ERAサーバーを選択して、「詳細を表示」 をクリックします。

	IISTRATOR	コンピューター i <u>詳細を表示</u>	▲ コンピューター名の…
ダッシュボード	コンピューター	アラートの表示	ループの表示 フィルタ
	グループ	 ○ モジュールの更新 ○ 再起動 > 	
	= 🖿 すべて (5)	 ▶ タスクの実行… + 新規タスク 	
🛕 脅威	LOST+FOUND (5)	 ③ 最後に使用されたタスク ▶ 	.13.216
■ ■ レポート	 Windows コンピューター Linuxコンピューター 	 ユーザーの割り当て… ペ ポリシーの管理… 	p2s 192.168.13.214
	Mac コンピューター	∮ ウェイクアップコールの送信 ■4 エージェントの展開…	3.131.145 fee8:feee
管理	 ▲ 古いモジュールのコンピューター ▲ 古いオペレーティングシステムの 		

16. 「コンフィグレーション」に移動し、「適用されたポリシー」をクリックします。

<戻る コンピューター > 📰し		
1 概要	コンフィグレーション	適用されたポリシー
🗘 コンフィグレーション	製品	日付
Ø SYSINSPECTOR		
タスクの実行	このコンセ	ピューターにはエクスポートされた
🐻 インストール済みアプリケーション	,	

17. 作成したポリシーが「適用中」になっていることを確認します。

16	8					
	コンフィグレー	ション	適用されたポリシー			
	ポリシー順序	ポリシー憲		ポリシー名	ポリシーの説明	状態
	1 (最初に適用)	ESET Rem	ote Administrator Agent	エージェントの証明書変更	ERAサーバーのエージェントの証明書を変更する	適用中

以上で、新サーバーのセットアップは終了です。

続いては、旧サーバーにて、管理しているクライアントの接続先を新サーバー に変更する作業を行います。

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

9. [STEP5] クライアントの接続先の変更

STEP5-1. クライアントの接続先の変更

クライアントの接続先を新サーバーに変更するため、旧サーバーからポリシーを配布しま す。以下の手順でクライアントの接続先を変更してください。

 「スタートボタン」→「ESET Remote Administrator Web Console」をクリッ クし、ERA の Web コンソールを開きます。



2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



[※]ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。
※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、旧サーバーで使用していたユーザー名とパスワードを入 カし、ログインをクリックします。



4. Web コンソール画面の右上のクイックリンクから、「新しいポリシーの作成」を クリックします。

		コンピューター名の検ジ 🔗
-	新しいコンピューターの追加 新しいモバイルデバイスの追加 新ユーザーを追加 レポートの作成	ポリシー <u>新しいポリシーの作成</u> ホリンーの割り主 (
<u>1</u>	クライアントタスク インストーラー 新しいインストーラーの作成 ERAエージェントの展開	闘< サーバーの設定 アクセス権 サーバータスク 動的グループテンプレート ライセンス管理

5. 作成するポリシーの「名前」と「説明」の欄を必要に応じて入力し、「設定」をク リックします。

名前	エージェントの向き先変更
説明	エージェントの向き先を新サーバーに変更する

6. 「製品の選択」から、「ESET Management Agent」をクリックします。

+ 基本	
- 設定 🛕	
製品を選択 ESET Endpoint for Windows ESET Endpoint for macOS (OS X) and Linux ESET Shared Local Cache ESET Mobile Device Management for iOS ESET Regue Detection Sancer	A
ESET Management Agent	

7. 接続サーバーの「サーバーリスト編集」をクリックします。

ESE	l Management Agent	٩
	■ 接続	
	○ ● 🗲 接続先サーバー	サーバーリストの編集
	○ ● Ź データ制限	1
	○ ● 🗲 接続間隔	間隔の変更

8. 「追加」をクリックします。

H—/(—		? 🗆
サーバー	ポート	٩
ista viet		

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

 以下の入力し、「OK」をクリックします。
 ホスト:新サーバーの IP アドレス又はコンピュータ名 ポート:2222(既定で2222となっております)

追加		? 🗆 X
ホスト ポート	2222	
	ок	キャンセル

10. サーバーとポートが手順9で入力した値になっていることを確認して「保存」を クリックします。

サーバー		ポート	_		Q
		2222			
追加 編集	削除	+			Ŧ
ABOAN (MESHE	- ANKA				
			_		
				保存 🗧	=ャンセル

11. 接続先サーバーの項目を「ゲ」にして、「割り当て」をクリックします。

- 接続	
○ ▶ 議員	★ 接続先サーバー
0 0 4	データ制限
0.04	4立(本印度)百
0 0 7	按抗 间 隔 R R/1 * * * ? *
0 0 4	証明書
_	
● 更新	
詳細設定	
🕂 割り当て	

12. 「割り当て」をクリックします。

+ 設定	
- 割り当て	
割り当て 割り当て解除	
クーゲット名	ターゲット説明
	使用で

ポリシーを割り当てたいグループにチェックをいれ、「OK」をクリックします。
 ※(例 1)管理しているクライアント全ての場合は、「すべて」にチェックします。
 (例 2)グループ毎に徐々に移行していく場合は、グループ毎にチェックします。

保存先の設定		~
グループ	▲ ● ✓ ○)
□ □ □ ▼ (4)	□ ▼ コンピューター名	ステータス ミュート
■ Windows コンピューター ✓ ■ Linuxコンピューター	使用できるデータがありません	
□ 1 Mac コンピューター	<	>
□ ターゲット名	ターゲット説明	
LOST+FOUND	LOST+FOUNDの静的グループ	
Linuxコンピューター		
<		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
削除 すべて削除		OK =+ヤンセル ♥

14. 手順13でチェックしたグループがターゲット名に表示されていることを確認して、「終了」をクリックします。

- 割り当て	
割り当て 割り当て解除	
 ターゲット名 	ターゲット説明
LOST+FOUND	LOST+FOUNDの静的グループ
Linuxコンピューター	
終了キャンセル	

サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

STEP5-2. クライアントの接続確認

新サーバーにて旧サーバーで管理していたクライアントが接続できているかを確認します。

 「スタートボタン」→「ESET」→「ESET Remote Administrator Web Console」 をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。

	ESET 新規 ESET File 利元	^ الت_د ≓۲۸۲.y
	ESET Remote Administrator 新規	Web
	Test Shell 新規	
	ESET SysInspector 新規	
8	L	
វតិវ	Java 新規	×
224	M	
Φ	Microsoft SQL Server 2008	~ _
	ዶ 🗆 ಿ 📄	

2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。

この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。
この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関: りません。
セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターから を盗み取る意図が示唆されている場合があります。
このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨しま
◎ ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。 ◎ このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。

※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用している ため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。 ※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。



 STEP5-3 の手順13で選択したグループに所属しているクライアントの最終ア クセスの時間が更新されていれば、クライアントは新サーバーに接続ができてお ります。
 ※コンピュータの一覧には、旧サーバーの情報が残っておりますので、必要なけ

※コンビュータの一覧には、旧サーバーの情報が残っておりますので、必要なければ削除してください。

द्भ विरूर <i>ण्जि</i> रित्र	~	▲ ステータス	ミュート	モジュール	最終アクセス	未解決
OST+FOUND (5)						
🚟 🏥 🖵 🎯		×		更新	2018年 7月 5日 11:08:07	
₽ 🚱		×		更新	2018年 9月 21日 13:49:21	42
₽ 🚱		~		更新	2018年 9月 21日 13:48:01	2
		0		更新	2018年 9月 21日 13:49:19	7
		0		更新	2018年 9月 21日 13:49:19	4

最終的に旧サーバーで管理を行っていた全てのクライアントが新サーバーに接 続できていることが確認できれば、サーバーリプレイスに伴う、ESET Remote Administrator 移行作業は終了です。



サーバーリプレイスに伴う ESET Remote Administrator V6の移行手順

弊社 ESET サポートサイト情報ページにて、製品機能・仕様・操作手順などの 情報を公開していますので、ご利用ください。

■ ESET サポート情報 法人向けサーバー・クライアント用製品 https://eset-support.canon-its.jp/?site_domain=business

ご不明な点などがございましたら、上記の Web ページをご確認いただくか 下記 Web ページより弊社のサポートセンターまでお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口(サポートセンター) https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business